

SDGsへの 取り組み

当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的な発展、魅力ある地域社会づくり、環境保全の永続的な取り組みなど、地域社会の発展を考えた事業活動に取り組んでいます。



[Message]

持続可能な社会の実現のために、 地域とともに進むあましん。

執行役員 営業統括部 部長 兼 地域支援グループ長 井上 公宏

「あましんグリーンプレミアム」は、環境問題に対する地域の皆さまの取り組みにスポットを当てることで、持続可能な地域づくりの機運を高めていこうと2011年に創設しました。2019年には「あましんSDGs宣言」を公表。2022年からは企業のSDGsへの取り組みを支援する「あましんSDGsサービスパッケージ」の取り扱いを開始。具体的・継続的な伴走支援を行っています。また、神戸大学との共同研究のなかでESGを考慮した事業性評価手法の構築をめざすなど、地域の力を結集して持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

あましん SDGs宣言

私たちは、地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献し、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



2019. 10. 10
尼崎信用金庫 理事長 作田 誠司

重点項目（ターゲット 2030）

地域経済の活性化と持続的発展



質の高い金融サービスの提供を通じて地域経済の活性化に努めるとともに、「考動提案・支援育成型」のコンサルティング機能の発揮により地域における創業や事業拡大等を支援することで地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

魅力ある地域社会づくりへの貢献



芸術・文化の発信基地として、地域の金融教育、芸術・文化支援活動を積極的に行うことで魅力ある豊かなまちづくりに貢献いたします。

環境保全の永続的な取り組み



環境負荷低減に取組むとともに、「環境保全に寄与する金融サービス」を活用した環境配慮型企業・環境分野へのサポート、ならびに環境保全に取組む個人・団体への助成等環境文化の創造により地域の自然環境の維持・保全に貢献してまいります。

地域経済の活性化と持続的発展

お客さま向けSDGsコンサルティング

近年、大企業をはじめ中小企業においてもSDGsに対する関心が高まっており、社会や企業自身の持続的な成長に向けた取り組みが求められています。当金庫では、SDGsの理解・浸透から事業計画への反映、取り組み状況の検証など、お取引先のSDGsの目標達成に向けて継続的な伴走支援を行い、お取引先の企業価値や競争力の向上に努めています。

\ お客さまのSDGsへの取り組みを促進・支援します! /

あましんSDGs サービスパッケージ

名称 あましんSDGsサービスパッケージ

ご利用いただける方 当金庫とお取引のある法人(個人事業主を含む)のお客さま


ご利用料金 初年度/110,000円(税込) 2年目以降/55,000円(税込)

サービス内容

- 1 お客さまのSDGsの取り組み状況を可視化し、診断結果レポートを作成
- 2 診断レポートに基づき、お客さまの「SDGs宣言書」策定をサポート
- 3 お客さまの「SDGs宣言書」策定後、目標達成に向け継続的なサポート
- 4 ご要望によりお客さまのSDGs取り組み状況を同業他社と比較が可能

※本サービスは東京海上日動火災保険株式会社、ならびに株式会社グローバルキャストが尼崎信用金庫に提供するSDGs取り組み診断ツールを活用して、当金庫が独自に提供するものです。

本サービスでは、お取引先のSDGsへの取り組みを促進・支援するため、SDGsの取り組み状況をオリジナルの評価方法にて「見える化」します。



大阪・関西万博に 「共創パートナー」として参画

当金庫は、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーに2023年3月に登録されました。「TEAM EXPO 2025」は、さまざまな人たちがチームを組み、多様な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型のプログラムです。大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現と誰もが安心して暮らせるサステナブルな社会形成のため、当金庫は「共創パートナー」として、これまで培ってきたリソースを活かし、各地域で活動する企業や団体の皆さまとの協働により、地域社会の活性化を図ってまいります。



魅力ある地域社会づくりへの貢献

地域貢献活動



あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

創業90周年を機に地域や自治会の皆さまのニーズ(地域の課題)にお応えし、より地域との連携を深めるために「本業のひとつとして能動的に参画する活動」をめざしてスタートした「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」。2020年度からは「あましんSDGs宣言」の重点項目を意識した活動内容へと転換を図っています。これまでの活動で得た地域とのつながりを活かし、さらなる活動の深化を図るため、自らが起点となり、地域の課題解決に向けて役職員が一丸となって取り組んでいます。



未来を担う子どもたちにSDGsに関する絵本を寄贈

2022年12月15日、当金庫は、「SDGs応援融資」取り組みの一環としてSDGsに関する絵本9セットと絵本棚を芦屋市こども・健康部ほいく課に寄贈しました。当金庫では2019年10月に「あましんSDGs宣言」を表明し、SDGsの取り組みを事業に活かしている、またはこれから活かそうとされる企業や個人事業者をご支援する商品として「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、SDGsの趣旨に賛同し、地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付することとしています。芦屋市では市立保育所など9園に「SDGsえほんコーナー」を設け、子どもたちがSDGsについて学べるよう蔵書として活用されています。

金融教育への取り組みについて

2007年6月から、未来を担う地域の子どもたちに「金融の基礎知識やお金の大切さ」を学んでもらうための金融プログラムとして、あましん「おかね寺子屋」を実施しています。開始以来、延べ91校、約7,300人の児童・生徒の皆さんが参加しています。(2023年3月末日現在)

また、2022年度からは高等学校における学習指導要領の改訂や、成年年齢の引き下げ施行を受け、地域の高校生を対象に「あましん金融経済教育セミナー」を開講しました。「卒業後、安全で豊かな人生を送るための第一歩」として金融や経済の知識を身につけてもらうため『これから必要なお金について』や『お金のトラブル』などをテーマに当金庫職員が講義を行っています。2023年1月、第1回目の出張先として兵庫県立鳴尾高等学校の1年生(8クラス)を対象に出張授業を行い、約300人が受講しました。



芸術・文化・スポーツの振興



世界の貯金箱博物館

世界62カ国、24,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器を”との思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など、歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催していますので、ぜひご来館ください。

一般財団法人 尼信地域振興財団

1978年1月に当金庫が基金全額を出資して設立した尼信地域振興財団は、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、財団の活動を通じて青少年の育成、地域文化の振興など、地域に根差した活動を行うことを目的としています。

2022年度の助成は約1,100万円(47件)、寄付は250万円(1件)。設立からの助成総額は7億6,900万円、寄付総額は3,250万円となっています。



あましんサッカー大会

創業70周年記念事業として、1991年にスタートしました。当金庫は、サッカー大会の定期開催を通じて、地元阪神間の子どものためのふれあいの場を広げ、技術の向上、将来の夢の実現のお手伝いをしています。



尼信ブラスフェスティバル

創業80周年記念事業の一環として、2001年11月にスタートしました。毎回たくさんの吹奏楽ファンにお楽しみいただいています。



環境保全の永続的な取り組み

環境保全の推進



あましんグリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取り組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。

第12回「あましんグリーンプレミアム」では、2022年6月1日から8月19日までの間に環境事業部門・環境活動部門・環境アイデア部門の3部門で133先から134件の応募をいただきました。

1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には鋼材に発生する赤錆を発生抑制

の強い黒錆に酸化還元・転換し、鉄の腐食を防ぐ処理材を開発したアロウイング株式会社が選ばれました。



あましん緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀の森づくり」に2010年から参画しています。

2022年6月には、地域の皆さまと当金庫役職員が「10年かけて植樹し、100年かけて森を育てる」という大きな目標に向かって取り組む姿勢が高く評価され、一般社団法人全国信用金庫協会の第25回社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞しました。

10年かけて植樹するという大きな節目を終え、2022年からは除草・間伐活動など森を育てる育樹活動に力を注いでいます。



「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」 提言への賛同・開示

～地域一体となった社会課題への対応をめざします～



当金庫は、創業以来「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済・社会の発展を常に考えた事業活動に取り組んでまいりました。また、2019年10月には「あましんSDGs宣言」を表明し、「地域経済の活性化と持続的発展」「魅力ある地域社会づくりへの貢献」「環境保全の永続的な取組み」を重点項目として、SDGsの目標達成に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

2023年4月、脱炭素社会への移行や持続可能な社会の実現にこれまで以上に貢献していくため、TCFD提言への賛同を表明しました。サステナビリティ体制を強化し、TCFD提言を踏まえた気候変動にかかる情報開示の充実に努めるとともに、これまで推進してきた社会・環境課題解決への取り組みをさらに発展させ、持続可能な地域社会の実現に取り組んでまいります。

「TCFD 提言」とは

金融システムの安定化をめざす国際的組織の「金融安定理事会（FSB）」により、気候関連の情報開示および金融機関の対応を検討するために設立された気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）の提言で、気候変動関連のリスク・機会の評価や財務的影響の分析・開示を推奨しています。

あましんの 人材と働き方

当金庫は、職員一人ひとりの多様性を尊重し、職場環境の整備に努めるとともにお客さま・地域社会から必要とされる人材の育成に積極的に取り組んでいます。すべてのステークホルダーに喜びと感動を提供する〈あましん〉をめざして、「地域における存在感」「お取引先からの期待感」「職員の満足感」の3つをキーワードとして掲げ、これこそが信用金庫の姿だと認められ職員も実感できる取り組みを進めています。

[Message]

働き方は、十人十色。 一人ひとりに寄り添う人事を。

経営管理部 係長(人事戦略グループ) 山中 晴子

出産・育児、介護などのライフイベントをはじめ、長い人生の中には同じ条件、同じコンディションで働き続けることが難しい局面はたくさんあります。かつては「仕事かプライベートか」の二者択一を強いられた時代でしたが、「仕事もプライベートも」充実させる時代へと社会は変化しています。あましんでも職員一人ひとりに寄り添い、多様な働き方を可能とする環境をめざしています。職員の地域への熱い思いと、自身のライフプランを高い次元で両立できるよう、人事戦略グループとして挑戦を続けています。

人材活躍推進に 関する方針

「まずはやってみよう!」という職員の前向きなアクションにつながる環境整備に取り組んでいます。職員の知識・スキルを向上させるとともに、「公平公正で納得感があり、頑張った職員が適正に評価される人事制度」の確立を進めています。一人ひとりが能動的・自律的に自身のキャリアプランを描き、エンゲージメントを向上させることによって、地域やお取引先に対して「ともに価値を創出し成長に貢献するパートナー」としての存在感を発揮できることが目標です。

平均年齢

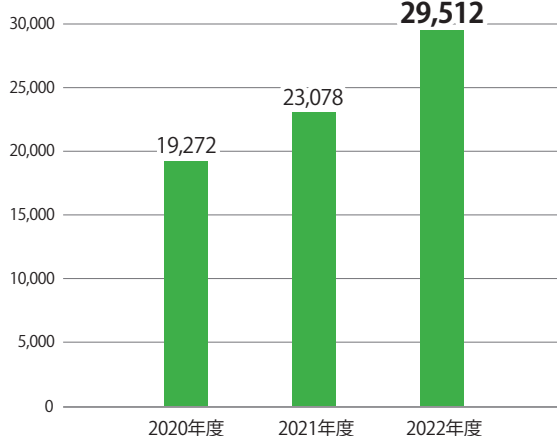
38.9 歳

平均勤続年数

15.2 年

1人あたり研修費の推移

(単位:円)



職場環境の整備

当金庫は、職員が「企業人」とするとともに「地域住民」としての役割が大切であると考えており、ボランティア活動を目的とした休暇を設け、地域住民の一員として活動できるよう支援しています。2010年5月、次世代を担う若い職員のために、より働きやすい職場環境を整備することが大切であると考え、厚生労働省より認定を受け、「次世代認定マーク(愛称:くろみん)」を取得しました。2017年度には育児休業の制度をさらに充実したものに改正し、育児休業を取得することができる対象者を生後満3歳に達しない子を育てる職員にまで、また、短時間勤務制度(キッズ・サポート勤務制度)を利用できる対象者を小学4年生以下の子を養育する職員にまで広げ、子育てをしながらでも働くことができる職場環境の整備に努めています。そして、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業として「女性の活躍推進企業データベース」に、仕事と家庭の両立、女性活躍推進への取り組みを掲載しています。



■ 当金庫の主なワーク・ライフ・バランス施策

就業継続の支援

- 育児休業制度
- 介護休業制度
- 家族介護休暇(有給休暇)
- 保育休暇(有給休暇)
- 配偶者の出産のための父親の休暇(特別休暇)
- 子の看護のための休暇(特別休暇)
- 家族介護のための休暇(特別休暇)
- 短時間勤務制度(育児・介護)
- 再雇用制度

「非」労働時間の充実

- 連続休暇(有給休暇)
- フリープラン休暇(有給休暇)
- 各種厚生施設・各種契約施設
- 記念日休暇(有給休暇)
- 定時退店日の設定
- 各種クラブ活動

健康管理の支援

- 健康増進休暇(有給休暇)
- ストレスチェック
- 婦人科検診の積極的な奨励
- 職員悩みごと相談窓口の設置
- ハラスメントに関する相談窓口の設置
- 定期健康診断
- がん検診の積極的な奨励
- 人間ドック
- 職員心の相談室の設置

キャリア開発支援

- コース別人事管理制度
- 業種別審査スペシャリストの養成
- e-ラーニング
- 職員転換制度
- コース転換制度
- ホリデースクール
- 資格手当制度
- 尼信図書館の設置

■ ワーク・ライフ・バランスに向けた主な取り組み実績

(人)

	2020年度	2021年度	2022年度
短時間勤務制度 ※1	64	74	71
育児休業制度 ※2	69(5)	78(8)	82(23)
コース転換制度 ※3	1	38	44

※1 所定就業時間を短縮し、仕事と育児・介護の両立を支援する制度です。

※2 性別に関わらず、安心して育児に専念できるよう取得を奨励しています。()内は男性の取得者数。

※3 一般職から総合職へコース転換することにより仕事の幅を広げ、管理職をめざします。

VOICE

一般職で入庫し、総合職へ転換。その後、産休・育休を取得し、現在は短時間勤務制度を利用しながら働いています。上司や同僚の育児に対する理解も深く、子どもの突然の体調不良には看護休暇等を活用しています。充実した制度と周囲の温かいサポートに感謝し、これからも仕事と家庭をしっかりと両立させたいと思います。



北難波支店 係長
安田真由美

VOICE

休日は、母校(大学)の硬式野球部でコーチをしています。学生と一緒に体を動かすことで良い気分転換にもなっています。また、平日に大会が入ることもあります。支店の方の協力もあり、休暇を取得しやすい環境をつくっていただいています。周りのサポートに感謝し、仕事・プライベートともにさらに充実させたいと思います。

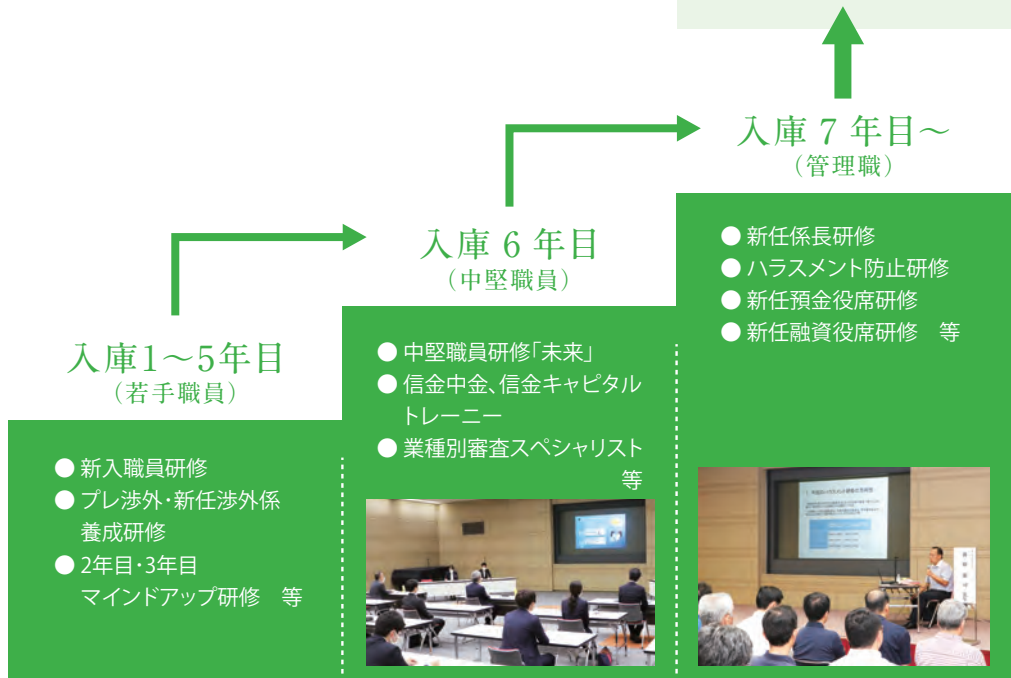


苦楽園支店
小原大輝

研修体系

当金庫は、人材が最も重要な経営資源であると考えており、職員の能力開発を支援する態勢を整備し、多様化する金融業務に適切に対応していくための専門知識・提案能力の向上をめざす人材の育成に積極的に取り組んでいます。

さらなるSTEP UP
長期的に成長でき、個々の職員の成長がお客さまの喜びにつながるように学びの場を大切にしています。



専門人材の育成

■ 業種別審査スペシャリスト

当金庫は、事業そのものや成長性、収益力、技術力など事業の無形資産や企業価値を的確に見極めることができる「目利き力」の養成をめざし、2001年7月から製造業や流通業など主要6業種の「業種別審査スペシャリスト」の養成を行っています。



■ 信金中金・信金キャピタルトレーニー

職員の専門的な業務知識の向上とスキルアップを目的として、信用金庫の上部団体である信金中央金庫や信金キャピタルへのトレーニーを実施しています。

信金中金トレーニーでは海外業務支援コースなど複数のコースがあり、コース内容に応じて国内や海外で研修を実施しています。

信金キャピタルトレーニーでは、事業承継やM & Aについて実地研修を通じて学ぶ研修を実施しています。

■ 税理士・不動産鑑定士など高度な専門資格保有者の養成

職員の自律的なキャリア形成意欲に応え、お客さまへの高度なアドバイスや金庫業務への活用を目的として、税理士や不動産鑑定士の養成を定期的実施しています。

公募によって選ばれた職員が資格取得に集中できるように、業務から離れて資格取得に向けた学習に取り組む環境を提供しています。

■ 事務リーダー養成研修

正確・迅速な事務によるCS (Customer Satisfaction = 顧客満足度) 向上を目的に、営業店職員の中から事務のリーダーとなる人材の養成に取り組んでいます。

■ e-ラーニングシステム

職員の事務能力向上や自己啓発環境の整備を目的として「e-ラーニングシステム」を導入しています。これにより、職員は自宅に居ながらインターネットを通じて、事務規定や金融業務知識等について学習することが可能です。また、育児休暇・介護休暇を取得した職員への職場復帰時の支援策としても活用しています。

■ 有資格者数

2023年3月31日現在

税理士	1	2級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査2級)	
不動産鑑定士	3	●個人資産相談業務 (371)	635
社会保険労務士	6	●中小事業主資産相談業務 (246)	
証券アナリスト	2	●資産設計提案業務 (17)	
中小企業診断士	11	●生保顧客資産相談業務 (1)	
宅地建物取引士	46	3級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査3級)	1,038
公認内部監査人 (CIA)	3	1級金融窓口サービス技能士	8
公認不正検査士 (CFE)	13	●テラー業務(テラー技能審査1級)	
1級ファイナンシャル・プランニング技能士 (金融渉外技能審査1級)	24	2級金融窓口サービス技能士	88
		●テラー業務(テラー技能審査2級) (79)	
		●金融商品コンサルティング業務 (9)	
		3級金融窓口サービス技能士	350
		●テラー業務(テラー技能審査3級) (344)	
		●金融商品コンサルティング業務 (6)	

今後の金庫が めざすもの

■ 自律的なキャリア形成への取り組み

各世代にあわせたキャリアチャレンジ制度をスタートします。それぞれの年代に応じて、定期的にキャリア形成を見直しながら、長期にわたって職場での将来設計に向けた取り組みを金庫としてしっかりとサポートしていきます。また、希望する職種や部門、めざしたい将来像、あるいは信用金庫人としてのスキルアップに向けた取り組みを、内外の研修機会を活用しながら、リスクリングの発想でオーダーメイド型のサポート体制を構築していきます。



VOICE

お客さまの資産形成のお手伝いをする仕事に魅力を感じ、現在はタイプ別渉外係として日々業務に取り組んでいます。財務、税務、FPなど、今までに取得した資格を幅広く活用し、一人ひとりのお客さまに寄り添ったマネープランのご提案を心掛けています。



深江支店
待場夏実

VOICE

現在、税理士資格の取得に向けて日々勉強に励んでいます。2023年10月からインボイス制度が開始されるなど、税法は時代に合わせて日々変化し続けています。そのような状況においても、お客さまからの税務相談に迅速かつ丁寧に応えられる税理士になれるよう頑張っています。



経営管理部
良本真之